

全日本大学駅伝・全日本大学女子駅伝 東海地区選考会 新型コロナウイルス感染予防対策

弊連盟では今大会において、公益財団法人日本陸上競技連盟の新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドラインを参考に以下の感染防止策を設けました。

【基本注意事項】

1. 無観客試合

- ・競技者、競技役員、学生審判・補助員、チームスタッフ（監督、コーチ、マネージャー）、学生トレーナーのみ入場可能。チームスタッフの人数については制限を設けない。
チームエントリー登録外の付き添い選手は最大 5 名まで来場可とするが、スタート地点付近に行くことはできない。
- ・スタンドは入場ゲートで検温を実施したうえで開放するが、競技者及びチームスタッフのみ入場可能とする。

2. 応援について

- ・スタンドからの声を発する応援は個人・集団問わず禁止する。
- ・例年行っている、トラック周りでの集団応援を今大会は禁止する。
- ・各チーム、リストバンドを付けている者の中から 2 名まで、トラック内第 1～第 3 コーナーでの応援を認める。
主催者側で応援エリアを設置するので、その範囲内でソーシャルディスタンスを保ち、マスクを着けて応援すること。レース中に応援エリアを移動することは可能とする。
- ・代表者 2 名のトラック内への入場時間は下記の通りとする。
全日本大学女子駅伝東海地区選考会（9/21）…18：50
全日本大学駅伝東海地区選考会（9/22）…17：20
- ・代表者 2 名は監督・コーチ・選手（補員、または選手の付き添い）・マネージャーのいずれかとする。

3. 「3 密」の回避

- ・対人距離（ソーシャルディスタンス）を 2 m 以上確保すること。撮影などをする場合も同様の対応をとること。
- ・マスクの着用を徹底すること。（ただし、競技中の選手は除く）
- ・競技場内の諸室は換気設備を運転し、窓・ドアを開放する。熱中症予防の観点から空調機等による温度調節を行う。

4. 各自による感染症対策

- ・感染経路となりうる共有する物品やドアノブなど高頻度接触部位については、主催者側で消毒するが、参加者各自が注意し、接触後の手洗いを徹底すること。
- ・競技者、審判員、その他全て入場者は、こまめに手洗い・消毒を行うこと。
- ・競技終了後は手洗い・消毒を行うこと。
- ・ハンカチやマイタオルを持参すること。

【大会参加について】

1. クラスタ感染が発生した場合に備え、参加校は各日、来場者内訳記入用紙（別紙）を必ず**代表者が提出**すること。提出場所は正面玄関入ってすぐのスペースとする。
また、「【2週間前】体調管理チェックシート」も同じタイミングで来場者全員分提出すること。その際、内訳記入用紙に記載の人数と「【2週間前】体調管理チェックシート」の**枚数が一致**しなければならない。
2. 内訳記入用紙に記載されている人数分のリストバンドを名簿提出時に代表者に渡すので、来場者は全員、リストバンドを付けて行動すること。リストバンドが付いていない者の入場は一切認めない。
3. 下記に該当する場合は大会参加および会場への入場を認めない。
 - ①本大会で定めた「【2週間前】体調管理チェックシート」の提出がない。
 - ②大会当日の朝の検温で 37.5℃を超え、強い倦怠感と息苦しさがある場合。
 - ③リストバンドが付いていない者。
 - ④発熱がなくても風邪の症状や体調不良がある者。
 - ⑤同居家族や知人に感染が疑われる人がいる場合。

【競技場への入場について】

1. 競技者・チーム関係者のウェーブスタジアム刈谷への来場時間は以下の通りとする。これより前に来場しないこと。
 - 全日本大学女子駅伝東海地区選考会（9/21）…16：30
 - 全日本大学駅伝東海地区選考会（9/22）…15:00※トラック内でのウォーミングアップ開始時間は9/21が17：30、9/22が16：00を予定。準備の都合でこの時間より遅れる場合はアナウンスで案内する。
2. 競技者、チーム関係者の入場口は正面玄関に限定する。
3. トラック内及び諸室への入場は選手、審判、補助員、各チーム代表者2名、報道関係者以外は認めない。トラック内に入場できないチーム関係者は、スタンドでソーシャルディスタンスを保ち、着席すること。スタンドへの入場ゲートは正面玄関右側の1箇所のみとする。入場の際は、リストバンドの確認と検温を実施する。

【招集所について】

1. 招集所では、並ぶ位置に一定距離を空けたマーカーを配置するので、マーカーに従って並ぶこと。
2. 腰ナンバーカードは各自で取ること。

【競技について】

1. スタート待機場所はソーシャルディスタンスを確保できる広さを確保すること。その際、審判員の指示に従うこと。
2. 必要以上に荷物を持ち寄らないこと。
3. 荷物は持参した袋やカバンに入れること。
4. スタート地点には競技開始時刻より早く来すぎることがないようにすること。
5. ゴール後は、腰ゼッケンを腰ゼッケン回収所に返却すること。その際、選手自身で腰ゼッケンを外すこと。
6. 競技終了後は必ず手洗い・うがいをする。

【記録について】

1. 記録掲示板前でのヒトの滞留を避けるため、リザルトは 公式 HP と電光掲示板にてお知らせする。
2. 競技終了した競技者には、速やかに競技場から退出するように依頼しているため、電光掲示板に表示する競技結果は、大学スタッフが確認すること。
3. 記録に関する抗議は電光掲示での発表を正式発表とし、そこから 30 分以内に行うものとする。

【トレーナー活動について】

1. トレーナー活動(マッサージ等)を行う者は**各校最大2名**までとする。
ゴール地点での救護活動を行うトレーナー人数に制限は設けない。
2. マッサージ等の活動場所は 100m ゴール側の「**選手控室 1**」とし、常に窓を開けた状態とすること。
3. 活動の前後に必ず手指の消毒をし、活動中はマスクの着用を義務とする。
4. 用器具の消毒を徹底すること。

【更衣室に関して】

1. 一度に多人数が使用しないように、張り紙及び監督者を置き、滞在時間は短時間となるよう指導する。
2. 選手用リストバンドを付けている者のみ利用可とする。
3. 換気扇を常に作動させ、窓を開放する。なお、シャワーの使用は禁止とする。

【各大学の待機場所・集合について】

1. 競技場正面玄関側の外周にテントを設置しても良いが、テント内で3密（密集・密接・密閉）にならないようにすること。
2. ミーティング等は、競技場内、競技場周辺等いかなる場所においても禁止する。

【その他】

1. 競技終了後、全ての箇所（机、いす、パソコンなど）を清掃、消毒する。
2. 競技終了後、全ての競技用機材を消毒する。
3. 参加者は大会後、症状が2日以上続く場合は、必ず最寄りの自治体の衛生部局と大会主催者（東海学連）に報告すること。
4. 競技場内全てのごみ箱は閉鎖する。ゴミは各自ビニール袋に入れて持ち帰ること。
5. 集団練習はせず、2m以上のソーシャルディスタンスを空けて練習すること。
6. 怪我、病気の応急措置については検温を再度した上で医師、トレーナー等医療従事者が対応するが、急病による発熱と感染症による発熱の区別がつかない場合には別途その場にいる医療従事者と相談して対応を行う。
7. 「【大会後】体調管理チェックシート」を各自記入し、自己保管すること。
8. 来場者全員が厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをすること。

